

株式会社 一荷屋

DX宣言書

2025年3月21日
株式会社 一荷屋
代表取締役 荷平 真剛

□ 経営理念

「食を紡ぐお手伝い」
世界中の注目を集める和食の一端を担う企業として、安心・安全な四季折々のオリジナル食材でお客さまの想いをカタチにする

□ DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

- ◆ デジタル技術を活用し業務の標準化を進め、ナレッジ共有の仕組みを構築することで、より働きやすい職場環境を目指します
- ◆ データ活用による業務効率化と経営判断の迅速化を実現し、市場の変化に適応しながら持続的に成長する会社を目指します

□ DX戦略・施策

➤ フェーズ1(現在 ～ 2025年9月)

戦略 「全体最適に向けた現状把握と課題特定」

- 施策
- ・ 各営業担当で管理している顧客情報等を洗い出し、データの管理方法や利用状況を把握
 - ・ 上記で整理した内容をもとに課題を特定し、課題解決の優先順位を決定
 - ・ 事務作業の効率化のため、電子請求書発行システムを導入
 - ・ 外部専門家の意見も参考にしながら、業務標準化に向けて顧客管理システムを導入

➤ フェーズ2(2025年10月 ～ 2026年9月)

戦略 「顧客管理システムを活用したナレッジ共有」

- 施策
- ・ 営業活動における属人化を防ぐため、顧客管理システムを活用した、ナレッジ共有の仕組みを構築
 - ・ システム導入のスムーズな定着化に向け、利用方法のマニュアルや社内ルールを整備
 - ・ 各営業担当が持つ知見や成功事例を共有し、組織全体の営業力を強化するための勉強会を開催

➤ フェーズ3(2026年10月 ～ 2028年3月)

戦略 「データドリブン経営の確立」

- 施策
- ・ データ分析ツールを活用した営業活動の効率化を推進
 - ・ AIを活用して販売実績データと市場動向データを組み合わせた分析を行い、精度の高い販売予測と迅速な経営判断を実現
 - ・ グループ全体のシナジーを最大化するため、横断的な会社運営をするためのデータ基盤を構築
 - ・ 更なるDX化に向けた施策を検討

□ DX推進体制

- ・ 代表取締役がDX推進における実務執行統括責任者を務めます
- ・ 社員全員がDX推進に参加し、社内一丸となった取り組みを行います

□ DX推進目標

- ・ AIを活用した販売予測の開始 : 2026年10月～